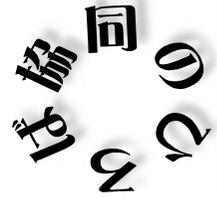


訃報

『変化する世界：協同組合の基本的価値』の著者
S. A. ベークさんが亡くなりました



中川雄一郎（協同総合研究所理事長）

2004年9月4日、スウェーデン協同組合運動の指導者スベン・オーケ・ベークさんが心臓発作で亡くなりました。69歳でした。

ベークさんは、1992年に東京で開催された第30回ICA大会に『変化する世界：協同組合の基本的価値』（「ベーク報告」）を提出しました。これは世紀の転換期における国際協同組合運動のビジョンを明示したものです。またベークさんは、95年にマンチェスターで開催されたICA100周年記念大会が満場一致で採択した「協同組合のアイデンティティに関する声明」が準備され、出来上がる過程において、協同組合の新原則と価値に関わる論議に大きな影響を与えました。

「ベーク報告」は、1980年の第27回ICAモスクワ大会に提出された「レイドロウ報告」（『西暦2000年における協同組合』）からの原則改定の提言を受け、また88年の第29回ICAストックホルム大会に提出された「マルコス報告」（『協同組合と基本的価値』）の価値議論を引き継ぎ、そして東京大会において原則改定の方向性を示したことから分かるように、世紀の転換期における国際協同組合運動にとって非常に重要な架橋の役割を果たしました。

ベークさんは、1935年に生まれ、長期にわたりスウェーデンの協同組合研究所の所長を務めながら、ICAの「協同組合の基本的価値」プロジェクトの座長として、世界中の協

同組合を精力的に訪問・調査し、心を込めて「ベーク報告」を書き上げ、協同組合人の前にそれを提出しました。

ICA東京大会を前にした1992年の春に来日したベークさんは、日本の協同組合人や協同組合研究者と「協同組合の基本的価値」について議論を交わしただけでなく、友好を深めることも忘れませんでした。来日後間もなく開催されたある会合でベークさんが得意の小笛（ピッコロ）を聴かせてくださったことが今では懐かしく思い出されま

す。（合掌）

ベーク氏略歴（『変化する世界：協同組合の基本的価値』より引用）

お名前：スベン・オーケ・ベーク

1935年生まれ

1963～70年 大学で経済学を教授

1968～73年 スウェーデン生協連（KF）で教育・調査・編集の各分野を担当

ECおよびEFTAで経済分析にもあたる

1978～82年 『協同組合人』編集長

1975～89年 スウェーデン協同組合研究所所長

1980～ スウェーデン協同組合学会会長

1988～95年 ICA調査委員会委員長